

研修機関名 いちご道場（あまイチゴ組合）

1 産地について

(1)愛西市・津島市でのいちご栽培の魅力

消費地が近い、愛知県下有数のいちご産地、安定して売れる、出荷期間が長い、充実した活動、多彩な販売ルートの確保、日本農業賞受賞産地

(2)当産地の栽培するいちご品種「ゆめのか」について

- ・多収・大果で食味の良い愛知県育成品種
- ・当産地の気候や栽培に合っている
- ・「おいしい、つやが良い」と消費者の評判が高い
- ・果実が固く棚持ちが良い・収量性が高い



2 応募について

(1)募集人数 2名以内

(2)応募資格

- ・18歳以上45歳未満
- ・「いちご」生産者として就農意思が明確な方
- ・研修終了後は愛西市、津島市内で就農でき、「あまイチゴ組合」へ加入し、収穫物を共撰出荷できる方
- ・性別、農業経験の不問

※運転免許必須（休憩場所への移動は車移動となるため）

(3)応募期間 令和7年4月1日から

(4)応募方法

- ・研修受講申込書、履歴書に必要事項等を記載の上、郵送または直接持参

※持参受付時間は平日午前8時30分～午後5時00分

(5)応募から就農までのスケジュール

募集期間	令和7年4月1日～
事前相談	随時受付
面談（一次選考）	随時（日程等は別途案内）
体験研修（二次選考）	随時（日程等は別途案内）2～5日間
結果通知	随時
顔合わせ・事前研修会	研修開始前
開校式	令和8年6月予定
実務研修開始	令和8年6月～
出荷	令和10年11月～

3 研修内容

(1)研修期間 令和8年6月から令和10年5月まで（2年間）

ア 1年目（令和8年6月から令和9年5月）

受入農家（3名程度）をローテーションしながら、土耕栽培・高設栽培の技術を実地研修にて学んでいただきます。

組合行事（目揃え会・勉強会等）にも参加をしていただきます。

座学については、イチゴ栽培の基礎研修等の項目を中心に行います。

イ 2年目（令和9年6月から令和10年5月）

引き続き受入農家をローテーションしながら、より高度な栽培技術を学んでいただきます。

1年目同様、組合行事にも参加をしていただきつつ、2年目から網室（共同苗栽培施設）の作業にも従事していただきます。

座学については、基礎知識の復習を行いつつ、経営に必要な手続き等の項目を中心に行います。就農計画の作成、各種補助金の申請等も進めさせていただきます。

(2)研修場所

あまイチゴ組合、組合員ほ場（愛西市、津島市）

※研修場所までは、原則研修生本人で移動をお願いします

(3)研修内容

基礎研修	肥料・農薬の基礎、病虫害管理、作業機使用方法、栽培の知識
実務研修	受入農家にて栽培技術、収穫・パック詰め等の調製
経営管理	施設投資、税務申告等の経営に必要な知識・手続き
就農準備	農地取得・資金調達等の就農に必要な知識・手続き
視察・交流	あまイチゴ組合栽培研修会・目揃え会等による交流

※研修期間中半年ごとに習得度の効果確認があります

4 研修費用

原則無料（生活費、交通費、昼食代等は自己負担）

5 問合せ先

J A あいち海部 農産部 担い手課

〒496-0876

愛知県津島市大縄町9丁目63番地

電話：0567-23-6913

E-mail：ninaite@ja-aichiama.com

研修機関名 れんこん道場（海部れんこん組合）

1 産地について

- ・愛西市は、東海地区で唯一のれんこん産地
- ・栽培品種は、ロータスホワイト種、水掘り品種として「金澄種」を中心に数種類栽培されている
- ・れんこん栽培の魅力は、消費地が近い、東海地区唯一の産地、選果場がある（全国で2カ所のみ）、出荷期間が長い、多彩な販売先、販売方法がある



れんこん



ほ場風景（夏季）



収穫作業（水掘り）

2 募集内容

(1)募集人数 2名以内

(2)応募資格

- ・18歳以上45歳未満
- ・研修終了後は「れんこん生産者」として就農意志が明確な方
- ・性別、出身、農業経験不問
- ・研修終了後は原則愛西市内で就農でき、「海部れんこん組合」へ加入し、収穫物を共選出荷できる方。

※運転免許必須（研修先までは車で通っていただくため）

(3)応募期間 令和7年4月1日から

(4)応募方法

- ・研修受講申込書、履歴書に必要事項を記載の上、郵送または直接持参

※直接持参の場合の受付時間は平日午前8時30分～午後5時00分

(5)応募から就農までのスケジュール

募集期間	令和7年4月1日より
事前相談	随時受付
面談（一次選考）	随時実施
体験研修（二次選考）	随時実施
結果通知	随時通知
研修開始	令和8年1月～
就農	令和10年1月～

3 研修内容

基礎研修	肥料・農薬の基礎、病虫害管理、農機の使用方法、栽培の知識
実務研修	受入農家にて栽培技術指導、収穫・選別の調製作業
経営管理研修	施設投資・税務申告等の経営に必要な知識・手続き
就農準備	農地取得・資金調達等の就農に必要な知識・手続き
視察・交流	れんこん産地協議会・海部れんこん組合の行事等による交流

4 研修費用

原則無料（生活費、交通費、昼食代等は自己負担）

5 問合せ先

J A あいち海部 農産部担い手課

〒496-0876

愛知県津島市大縄町 9 丁目 63 番地

電 話 0567-23-6913

E-mail ninaite@ja-aichiama.com

研修機関名 J A西三河いちご部会（いちごスクール）

1 西尾市でのいちご栽培の魅力

- (1)安定して売れる
- (2)出荷期間が長い
- (3)作りやすい
- (4)仲間が多い



2 募集内容

- (1)募集人数 若干名

(2)応募資格

- ・満 18 歳以上
- ・研修終了後は施設栽培いちごの生産者として就農意志が明確な方
- ・性別、出身、農業経験の有無は不問
- ・研修終了後に西尾市内で就農し、J A 西三河いちご部会へ加入できる方
- ・通年で西尾市内の研修受入農家へ通える方

(3)応募期間

令和 7 年 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

(4)応募方法

- ・所定の書類に必要事項を記入のうえ、J A 西三河営農部指導販売課まで郵送または直接持参（直接持参の場合は、平日の 9 時から 17 時まで）
- ・応募書類は HP に指定様式が用意

(5)応募から就農までのスケジュール

募集期間	令和 7 年 4 月 1 日～9 月 30 日
事前相談会	希望者ごとに個別に実施
書類審査	令和 7 年 10 月
現地説明会	随時
面談・選考	令和 7 年 11 月
結果通知	令和 7 年 12 月～令和 8 年 1 月
農家での実務研修	令和 8 年 6 月～令和 9 年 5 月
施設イチゴ生産者として本格出荷	令和 9 年 11 月～

3 研修内容

(1)研修期間

令和8年6月から令和9年5月の1年間

(2)研修場所

ア いちご生産者ほ場

イ J A西三河

ウ 県農業大学校（ニューファーマーズ研修）

(3)研修内容

基礎研修	生理生態・品種特性等、肥料・農薬、施設設備等、栽培の知識
実務研修	受入農家にて栽培技術、収穫・パック詰め等の出荷調製
経営管理	施設投資、税務申告等の経営に必要な基礎知識
就農準備	農地取得・資金調達等の就農に必要な知識・手続き
視察・交流	J A西三河いちご部会部会員との交流

※実務研修はいちご農家で行うので、農家によって研修のスケジュールは異なる

4 研修費用

原則無料

5 問合せ先

J A西三河営農部指導販売課

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田 15

電 話 0563-56-5272

E-mail hanbai@ja-nishimikawa.com



研修機関名 あいち中央農業協同組合（いちじくスクール）

1 産地の魅力

- ・温暖な気候と明治用水を利用した豊かな水利、豊富な日照量で栽培に適地
- ・性別を問わず比較的容易に栽培できるため、水田転作政策として栽培が拡大
- ・出荷量は全国トップクラス
- ・中京商業圏に隣接し、関東・北陸方面の市場流通・販売に有利
- ・栽培管理、品質検査、予保冷庫を利用した品質管理により市場、果専門店、量販店から高い評価
- ・ＪＡあいち経済連を通じて近隣農協（西尾、岡崎、豊田）と共同で各市場へ販売している
- ・販売価格が安定している

2 募集内容

(1)募集人数

- ア 定年帰農・兼業農家希望者 10名程度
- イ 新規参入・独立自営就農希望者 3名程度

(2)応募資格

碧南市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市在住の方

- ・いちじく生産者になる意思が明確な方
- ・ア（定年帰農・兼業農家希望者）→ 通年でスクールに通える方
- ・イ（新規参入・独立自営就農希望者）→ 通年でスクール、研修先農家及びニューファーマーズ研修（農大）に通える方（研修時間約 1200 時間以上）
- ・スクール終了後、ＪＡあいち中央いちじく部会に加入し、出荷・販売する意思がある方

(3)応募期間

- ①イチジク作業体験（前期） 令和 7 年 4 月 7 日～7 月 31 日まで随時受付
作業内容：芽かき、誘引など
- ②イチジク作業体験（後期） 令和 7 年 8 月 1 日～10 月 17 日まで随時受付
作業内容：収穫、選別、副梢(ヤゴ)除去など
- ③令和 8 年度いちじくスクール説明会申込 令和 7 年 8 月 1 日～9 月 5 日
ＪＡあいち中央のＨＰに募集記事を掲載
- ④いちじくスクール説明会・入校申込 令和 7 年 9 月中旬～11 月中旬
- ⑤面談・書類審査 結果通知 令和 7 年 11 月下旬～12 月上旬

(4)応募から就農までのスケジュール

栽培体験会募集期間（前期）	令和7年4月7日～7月31日 随時受付
栽培体験会募集期間（後期）	令和7年8月1日～10月17日
説明会申込	令和7年8月1日～9月5日
説明会	令和7年9月中旬
スクール入校申込	令和7年9月中旬～11月中旬
面談・書類審査	令和7年11月下旬
結果通知	令和7年12月上旬
入校式	令和8年3月25日（予定）
実務研修開始	令和8年4月
就農	令和9年3月

(5)応募方法 電話またはE-mail（下記参照）

3 研修内容

(1)研修期間

令和8年4月から令和9年3月まで（1年間）

(2)研修場所

J A あいち中央いちじくスクールほ場（安城市福釜町）及び部会員のほ場

(3)研修内容

基礎研修	病虫害の基礎知識、肥料・施肥の基礎知識等
実務研修	芽かき、誘引、副梢管理、摘心、収穫・選別、剪定等
経営管理	就農計画の検討（個別発表と検討）生産者（部会員）との意見交換会
就農準備	植付計画、就農計画、園地継承について
視察・交流	管内の優良圃場視察及びJ A パッキングセンター見学

4 研修費用

13,000 円（傷害保険加入料等 1 年間） ※最長2年間まで受講可能

5 問合せ先

J A あいち中央 営農部園芸課 産地対策室（担当：岩間啓史）
〒446-0046 安城市赤松町浄善 50
電 話 0566-73-4403
E-mail 00871@jaac.or.jp

組合員・利用者の皆さまへ

イチジク作業体験の参加者募集！！

JAあいち中央では、イチジク新規栽培者を育成するために、栽培に関する講習・実習を行う「いちじくスクール」を開校しています。令和8年度の受講生を募集するにあたり、事前にイチジク作業体験を行いますので、興味のある方はぜひご体験ください。

■『いちじくスクール』 入校申込資格

次の①～③を全て満たす方

- ①碧南市、刈谷市、安城市、高浜市、知立市在住の方
- ②イチジク生産者になる意思が明確かつ通年でいちじくスクールに通える方
- ③スクール修了後、いちじく部会の方針に従って出荷ができる方

■場 所 『いちじくスクール』ほ場

(でんまあと安城西部北側：安城市福釜町中根89)

■申込期間 2025年4月1日（火）～7月31日（木）

作業日程については申し込み後にご案内します。

■申込方法 下記お申し込み・お問い合わせ先へご連絡ください。

■作業内容 芽かき、誘引等

- ・体験を通して、イチジク農家になるイメージの参考にしてください！
- ・いちじくスクール入校説明会は、9月上旬を予定しています。

◆お申し込み・お問い合わせ

営農部園芸課 担当：中村

☎ 0566-73-4403 Eメール：00871@jaac.or.jp
(平日：8：30～17：30)



研修機関名 あいち中央農業協同組合（ナシ）

1. 産地の魅力

- ①「安城梨」は、120年以上続くブランド梨
- ②品種は主に5種類（愛甘水・甘ひびき・幸水・豊水・あきづき）
- ③愛甘水・甘ひびきは安城で生まれた梨
- ④産地維持を目的として、令和4年に新規就農者を確保するために梨生産部会で県・研修機関認定の登録申請及び梨園地の継承を目的とした新規梨農家育成セミナーの「梨塾」を令和5年4月に開講

2. 募集内容

(1) 募集人数

各コース 若干名

(2) 応募資格

- ①碧南市、刈谷市、安城市、高浜市、知立市に在住の方、または通える方
- ②梨農家になる意思が明確な方
- ③研修時は通年で研修先農家に自家用車で通える方
- ④Aコース：定年帰農・兼業農家希望者
通年で梨塾と研修先農家に通える方
- Bコース：新規参入・独立自営就農希望者
通年で梨塾と研修先農家及びニューファーマーズ研修（農大）に通える方（研修時間約1200時間以上）
- ⑤梨塾終了後、JA あいち中央梨生産部会に加入し、出荷・販売する意思がある方

(3) 応募期間

令和7年8月～9月（梨塾説明会への申込）

(4) 応募から就農までのスケジュール

項目	日程
説明会申込	令和7年8月上旬～9月下旬まで
説明会	令和7年10月
申込～面接	令和7年11月～12月
結果通知	令和8年1月
入塾・研修開始	令和8年4月
就農	令和10年4月

(5) 応募方法

電話またはE-mail（下記参照）

3. 研修受入内容

(1) 研修期間

令和8年4月から令和10年3月まで（2年間）

(2) 研修場所

J Aあいち中央なし部会員の圃場

(3) 研修内容

項目	内容
基礎研修	出荷、撰果場について、病虫害概論、肥料概論等
実務研修	芽かき、摘花、摘果、収穫、剪定、整枝誘引等
経営管理	就農計画の検討
就農準備	園地継承、就農計画について
視察・交流	園地継承事例の視察

(4) 研修費用

約 20,000 円（傷害保険加入料等 2 年間）

(5) 問い合わせ先

J Aあいち中央 営農部園芸課 産地対策室（担当：岩間啓史）

〒446-0046 安城市赤松町浄善 50

電 話 0566-73-4403

E-mail 00871@jaac.or.jp

**研修機関名 JAあいち三河「いちご」産地活性化
プロジェクトチーム（通称 いちご塾）**

1 産地の魅力

- (1)技術力の高い仲間が多い
- (2)産地の半分はベンチ栽培、ベンチ栽培と土耕栽培の両方が学べる
- (3)70 年近くの歴史があり、売り先からの評価が高い
- (4)先輩新規就農者との交流（15 名の先輩新規就農者との情報交換）がある

2 募集内容

(1)募集人数 3 名程度

(2)応募資格

- ・満 18 歳以上
- ・研修修了後 JAあいち三河管内でいちご生産者として就農意思が明確で、家族の同意が得られる方
- ・就農時は岡崎市いちご部会、幸田町いちご組合に加入する条件に同意する方
- ・研修時に、通年で研修先に自家用車で通える方

(3)応募期間

令和 7 年 4 月より受付開始（令和 7 年 9 月下旬まで）

(4)応募方法

所定の書類に必要事項を記載し、新規就農サポートセンターまでメールか郵送いただくか、当 JA の窓口までご持参ください。

※直接持参の場合は 9 時から 17 時まで

(5)応募から就農までのスケジュール

募集期間	令和 7 年 4 月～令和 7 年 9 月下旬
事前相談	随時受付
研修説明会	令和 7 年 10 月
農家体験実習	令和 7 年 11 月～12 月
面接会	令和 7 年 12 月
研修決定	令和 7 年 12 月中
オリエンテーション、体験研修	令和 8 年 1 月～3 月予定
開講式	令和 8 年 4 月上旬
実務研修開始	令和 8 年 4 月～
施設いちご生産者として本格出荷	令和 9 年 11 月～

3 研修内容

(1)研修期間

令和8年4月～ 1年～2年

※習得状況等に応じて研修期間は判断

(2)研修場所

ア J Aあいち三河いちご生産拠点研修農場「いちご塾」

イ いちご生産者ほ場

ウ 県農業大学校（ニューファーマーズ研修）

(2)研修内容

基礎研修	【生産拠点研修農場】 いちご塾での生産・出荷の実践、生理生態、品種特性、肥料・農薬、 基礎的な栽培技術、新しい資材や技術の試験調査 【県農大ニューファーマーズ研修】 農業基礎を受講 【先進農家研修】 就農後の対応力を上げるため、さまざまな栽培方式の先進農家での 体験実習
営農実務研修	就農する地域や栽培方式に近い先進農家での実務研修 就農に必要なノウハウ全般(栽培、収穫パック詰め等の出荷調製技 術など)の研修 簡易パイプハウス、育苗ベンチの自己施工研修
経営研修	施設投資、税務申告等の経営に必要な基礎知識
就農準備	農地取得、資金調達など、就農に必要な知識と手続き
視察、交流	部会（組合）の研修会や共同作業への参加 他産地や試験機関等の視察、県いちご連などの研修参加

4 研修費用

原則無料

※県農大ニューファーマーズ研修費用、研修時の衣服費、食費、交通費、生活費、
社会保険料等は自己負担

5 問合せ先

J Aあいち三河 新規就農サポートセンター

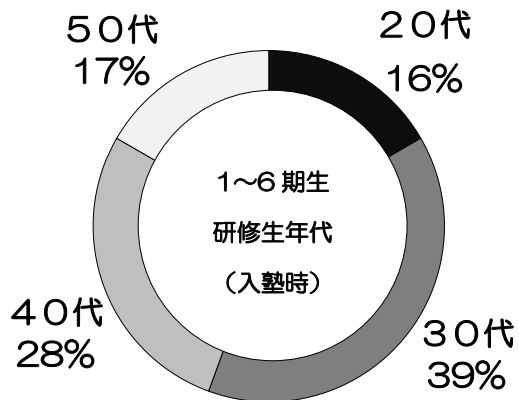
（J Aあいち三河 営農企画部営農企画課）（担当:宮本・内田）

〒444-0213 岡崎市坂左右町字葦ノ部 18-1

電 話 0564-55-2994

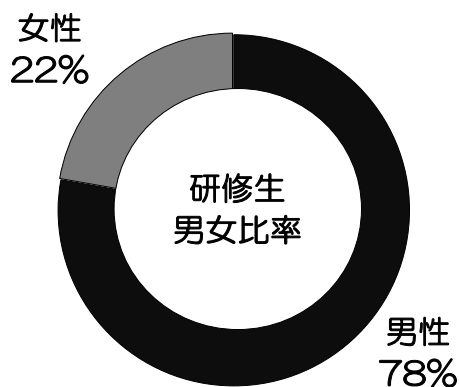
E-mail einoukikaku@ja-aichimikawa.or.jp

JA あいち三河 いちご塾生研修・就農状況(R7.5 時点)



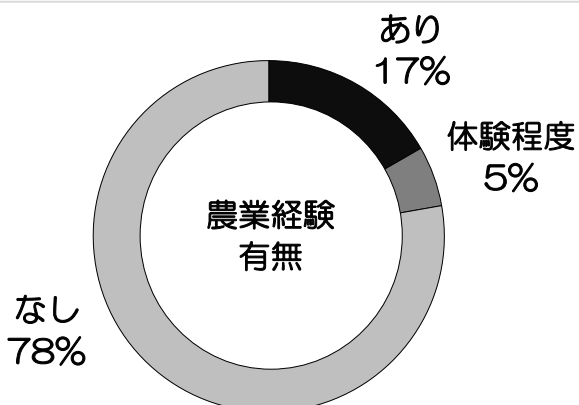
★幅広い年代の方が就農

★仕事の都合や家庭の状況など、就農者
自身のタイミングが重要！



★男性のほうが多い

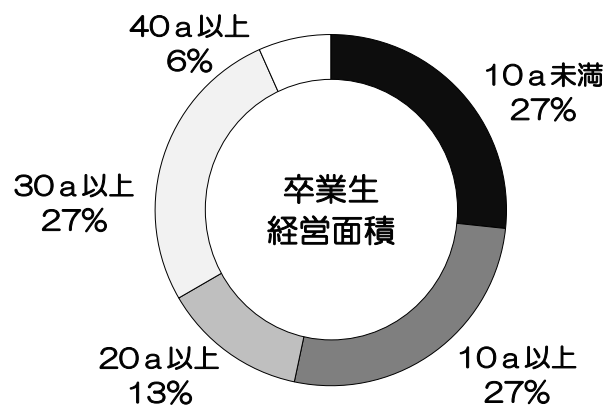
★いちごの栽培は比較的重労働が少ない
ので女性でも取り組みやすい！



★ほとんどの方が農業未経験

★農業経験がなくても就農可能

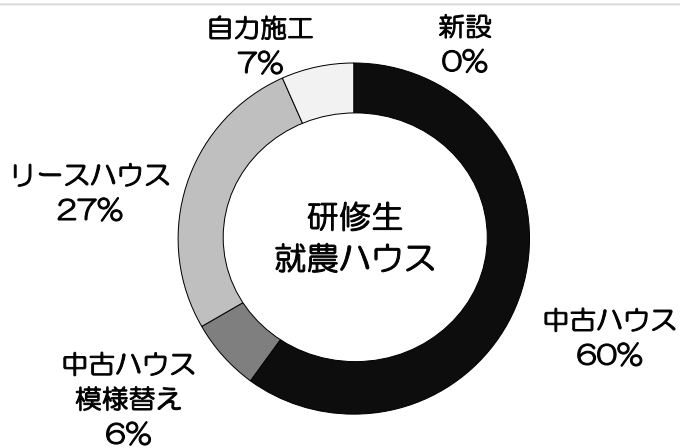
★いちご塾を通して一から学んでいきます



★空きハウスの状況によって経営面積は変わってきます

★すでに栽培規模拡大した方も！

★卒業生15名の生産量は産地全体の約2割を占めています！



★ハウスの新設には莫大な資金が必要

★ほとんどの方が中古ハウスやリースハウスを活用して就農

**研修機関名 JAあいち三河「なす」産地活性化
プロジェクトチーム（通称 なす塾）**

1 産地の魅力

- (1)生産量・技術ともに西三河トップの産地
- (2)露地栽培とハウス栽培での複合栽培が可能で、年間を通じた収入が確保できる
- (3)歴史があり、品質の高さから売り先からの評価が高い

2 募集内容

- (1)募集人数 3～4名程度

(2)応募資格

- ・満18歳以上
- ・研修修了後、JAあいち三河管内でなす生産者として、就農意思が明確な方
- ・就農時はJAあいち三河管内のなす部会に加入する条件に同意する方
- ・研修時は、通年でなす実習研修農場と研修先農家に自家用車で通えること

(3)募集期間

4月～10月末日

(4)応募方法

- ・所定の書類に必要事項を記載し、JAあいち三河新規就農サポートセンター窓口にてメール、郵便、持参等で提出（直接持参の場合は9時から17時まで）
- ・担当者との面談の後に正式に応募受理（担当者との面談は必須）

(5)応募から就農までのスケジュール

募集期間	4月1日～10月31日
事前相談	随時受付
農家体験実習	必要に応じて随時対応
面接会	同年12月
合否通知	同年12月
研修オリエンテーション	翌年1月～3月
開講式	翌年4月上旬
研修開始	翌年4月～
なす生産者として本格出荷	翌々年6月～(予定)

3 研修内容

(1)研修期間

4月から1年

(2)研修場所

- ア J Aあいち三河なす生産拠点農場
- イ なす生産者ほ場（岡崎市・幸田町）
- ウ 県農業大学校（ニューファーマーズ研修）

(3)研修内容

基礎研修	【生産拠点農場】 生産・出荷の実践、生理生態、品質特性、肥料・農薬、基礎的な栽培技術を学ぶ実務研修 【県農大ニューファーマーズ研修】 農業基礎を受講 【先進農家】 就農後の対応力を上げるため、様々な栽培方式の先進農家での短期の体験実習
営農実務研修	先進農家での実務研修 就農に必要なノウハウ全般（栽培、収穫、箱詰め等の出荷調製技術など）
経営研修	施設投資、税務申告等の経営に必要な基礎知識
就農準備	農地取得、資金調達など、就農に必要な知識と手続き
視察、交流	部会の研修会や共同作業への参加 他産地や試験機関等の視察などの研修参加

4 研修費用

原則無料

※県農大ニューファーマーズ研修費用、研修時の衣服費、食費、交通費、生活費、社会保険料等は自己負担

5 問合せ先

J Aあいち三河 新規就農サポートセンター（営農企画部 営農企画課）
〒444-0213 岡崎市坂左右町字葦ノ部 18-1
電 話 0564-55-2994
E-mail einoukikaku@ja-aichimikawa.or.jp